

2. 8. 第4回世界女性スポーツ会議への要望

1	各スポーツ団体の女性役員の具体的役割、事業内容を知りたい。また、今後、取り組むべき問題を教えて欲しい。
2	・動向を見て導入したい。・ブライトン宣言における10原則については、社会的、宗教的バックグラウンド等によって男女平等の考え方を見いだすことは難しいことであると思われるが、競技団体で課題に取り組む上でも、議論された内容等の情報をいただき、参考にしたい。
3	・「ブライントン宣言」は知っているがまだまだ競技団体でも認識されてはいない。 ・10の原則においてはそれぞれの分野で活動することで今までも行われてきたことをより認識を高めていくことでよいと考える。 ・スポーツのあらゆる面とは競技団体の組織での認知度はどうかということか、女性が最大限関わられることを可能にし、とは決定機関に参画するということが、そして尊重するスポーツ文化を発展させること、とは社会におけるスポーツの意義を問うということか、以上の事を鑑みて、戦うという場を長い歴史の中で男性特有のものとして社会が認知してきたものであったために今、改めて女性スポーツの意義と役割が叫ばれているのだと考える。どのような形が最も女性に適しているかは今後の大きなテーマでしょうが男女共同参画社会基本法もでき、お互いが協力しあって豊かな社会を育むためにもスポーツにおける女性のチャレンジをよりやりやすくする環境を目指していくべきと考えます。 ・現在活躍している指導者・役員の積極的な意見交換の場を作ってほしい。基調講演をお願いしたい人；緒方貞子女史のような世界的な人道支援活動をされている素晴らしい方もライフスポーツをされている、活動の源がこのライフ時間をどのように役立てていられるのか、また、スポーツが家族や子ども達にどれだけ必要なことなのか、平和をもたらす力になるのか、等をお聞きしたい。その他、メダリスト育成の井村、宇津木先生や、ビリー・キング女史の女子プロ設立に関する苦闘など多くの業績をつんでいられる方から声をじかに聞くことができれば素晴らしい。
4	各スポーツ団体に、「女性スポーツ委員会」を置くことは賛成である。今後も目標をもって、競技運営・競技力向上を女性のみで推進できるよう期待している。
5	1. ブライントン宣言に盛り込まれた「10の原則」は十分に理解できる。是非全ての分野で議論が成立し、形となるべきと思う。 2. しかし、何故、女性問題を取り上げなければいけないのか。そこに問題があると思う。本会においても、ブライントン宣言なる事柄の理解度はきわめて低いと言わざるを得ない。どうしてそうなのか。「10の原則」が何故必要で、どうして実現しないのかを、100%女性で構成する委員会で議論してみてもどうか。「男性への不満、女性自身からの実現を阻む問題への反省点」を整理してみてもどうか。この結果を男女委員で構成する委員会で揉んでどうか。
6	1. 女性のスポーツ活動を推進するにあたり、もっとも障害になる問題点の討議希望。 2. 女性のスポーツ活動に対して、欧米等先進国であると思われるが、どのような経過を経て良い成果があらわれているのか報告を受けたい。 3. アジアにおける女性のスポーツ向上、および女性の役員の国際的な活躍が、日本に比べると、当競技においては低いように思われるが、日本がイニシアティブを持って推進し、活動していくことを希望。 4. 男女共、同じ条件でスポーツに参加できるよう、オリンピックにおける「チャイルドルーム」設置希望。
7	テーマが大きくてよくわからない。
8	会議の内容について報告してほしい。